

令和4年度 第5回 京田辺市社会教育委員会議
会議要旨

1 開会

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議事

(1) 令和4年度社会教育委員活動実績及び令和5年度社会教育委員活動計画(案)について

資料の概要について、事務局より説明

(委員長) 今年度研修会の参加が少なかったもので、次年度は積極的な参加をして欲しい。

(2) 令和4年度社会教育事業実績について

資料の概要について、事務局より説明

(委員長) 令和5年度の事業の定員は削減したままか。

(事務局) 前期は、コロナの状況をみて定員を減らし、後期には従来の定員に戻す予定。

(副委員長) 人気のある事業は、もっと回数を増やして欲しい。

(委員) ヒューマンカレッジの参加にあたっては、歩行が困難な方については、車で利用できるようにして欲しい。

(3) 令和5年度社会教育事業計画(案)及び新規講座(案)について

資料の概要について、事務局より説明

(委員長) スマホ教室は要望が多いと聞く。講座の内容は、写真の加工の仕方など何かに特化したものにしてもよいのではないか。

(委員) 講座等の内容がいろいろあることはいいこと。しかし、足を運べない人のためにも、オンデマンドなども利用できるとよい。

(副委員長) 様々な形で学べるようにして欲しい。

(4) 令和5年度京田辺市教育の方針(抜粋)について

資料の概要について、事務局より説明

(委員) 放課後等の居場所づくりの推進の項目では、留守家庭児童会のことだけで、放課後子ども教室について明記されていない。この事業をもっと積極的に行っていくべきで、学校とも連携を強化していくべきでは。

(事務局) 今、国では、学童保育と放課後子ども教室を一体的に推進していく方針になっている。放課後子ども教室の役員のなり手不足などが課題となっており、学校と連携して事業を推進していきたいと考えている。教育の方針への放課後子ども教室の明記については検討する。

(委員長) この教育の方針は難しい表現となっているので、もっと市民が見てわかりやすい表現に変えてもよいのではないか。

(事務局) 教育の方針は、市教育委員会の指針としている。

(5) 京田辺市立図書館協議会委員の推薦について
資料の概要について、事務局より説明

(6) 京田辺市の社会教育について
資料の概要について、事務局より説明

(委員長) 明石市まちづくり協議会は、市が主導してできあがったのか。

(委員) 市は、補助金を出しているのみで、立ち上げ等には関わっていない。

(委員長) その協議会に参加している方の年齢層はどのくらいか。

(委員) 若い方が中心となって活動している。

(委員) 計画中の複合型施設には、800人程度のホールがよいのでは。

5 閉会 副委員長あいさつ